

ISOC 日本支部 (ISOC-JP) では、その活動内容をご紹介するために隔月でニュースレターを発行しています。今号では、2015年6月～7月の活動をご紹介します。7月には ICANN 会合が南米アルゼンチンのブエノスアイレスで開催され、IANA 機能の監督権限移管の問題などを中心に様々な議論が行われました。ISOC も関連組織として会員向けのイベントやワークショップなどを実施しました。次号は2015年10月に発行予定です。

■ ISOC-JP ワークショップ

ISOC-JP では、月に1回の頻度で、その時々でホットなテーマを選定し、ワークショップを開催しています。それぞれのテーマの最先端で活躍されている講師の方をお招きし、堅苦しくない雰囲気の中で参加者との議論を通して理解を高める場となっています。ぜひ皆様もご参加ください。

第6回：At-Large からみた IANA 監督権限移管の実際

日時：2015年6月18日(火) 18:30-20:30

会場：JPNIC 会議室

講師：北村泰一氏 (ALS Japan/NICT)

現在進行中である NTIA による IANA 機能の監督権限のコミュニティへの移管の議論のうち ICANN At-Large と呼ばれるインターネットユーザーのコミュニティ内の議論や意見集約の様子を解説し、参加者との質疑と議論を通じて状況の把握と情報の交換を行いました。

第7回：IoT のセキュリティ

日時：2015年7月27日(火) 18:30-20:30

会場：JPNIC 会議室

講師：伊藤公祐氏 (重要生活機器連携セキュリティ協議会 事務局長/株式会社コビテック)

IoT や M2M における脅威事例、関連する産業領域毎のセキュリティへの認識の違い、安全を確保しつつ IoT や M2M を活用するための技術の標準化の動向、業界毎の認識の違いを埋めるための業界横断的な取り組みについて解説し、参加者との議論を通じて情報の交換を行いました。

■ IANA 機能の監督権限の移管について

ドメイン名や IP アドレス、プロトコル番号などを管理する IANA の監督権限は、歴史的な経緯により米国商務省情報通信局 (NTIA) が持っていますが、NTIA はこれを民間に移管する意向があることを発表しています。これについて、さまざまなコミュニティで議論が行われていますが、ISOC でも重要な課題として扱っています。JPNIC が日本語で詳しい情報提供を行っていますので、ぜひご覧ください。

<https://www.nic.ad.jp/ja/governance/iana.html>

■ ISOC@ICANN

日時：2015年6月23日(火) 18:30-20:15

会場：Alejandro Casona, Melia Buenos Aires

ICANN ブエノスアイレス会合にて、恒例の ISOC@ICANN ミーティングが開催されました。いつもにも増して多くの支部、組織会員、個人会員が集まったため、会場がほぼいっぱいとなり、予定のアジェンダが変更されてネットワーキング中心のミーティングとなりました。



写真：中央 Sebastian Bellagamba 氏 (Regional Bureau Director for Latin America and The Caribbean)

■ IPv6 セミナー2015 Summer, IPv6 Summit in Hiroshima

日時：2015年7月10日(金) 13:30-17:30

会場：サテライトキャンパス広島 (広島県民文化センター内)

主催：一般財団法人インターネット協会 (IAJapan) 広島地域 IPv6 推進委員会

IAJapan が主催する IPv6 Summit と広島地域 IPv6 推進委員会が主催する IPv6 セミナーが合同で開催され、ISOC-JP はこのイベントの後援を行いました。

プログラムの一つとして ISOC-JP Chair の藤崎智宏が

「IPv6 の過去・現在・未来」と題して講演を行いました。



写真：講演を行う藤崎智宏